

令和7年度入学生カリキュラム（ファイナンス・会計コース）

科目群	単位	配当学年・セメスター		最低必要単位	1 年		2 年		3 年		4 年									
		科目区分			1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター								
専 門 科 目	68 単 位	必修科目		10 単 位	●オリエンテーションゼミナール② ●マクロ経済学Ⅰ② ●ミクロ経済学Ⅰ②		●マクロ経済学Ⅱ② ●ミクロ経済学Ⅱ②													
		選 択 必 修 科 目	基礎科目		8 単 位	●入門経済学② ●経済学基礎数学Ⅰ② ●経済史概論Ⅰ② ●基礎会計学Ⅰ②		●経済学基礎数学Ⅱ② ●経済データ入門② ●経済史概論Ⅱ② ●基礎会計学Ⅱ② ●経済学基礎英語②												
			経済専門キャリア科目		6 単 位			<教職課程科目> (教職課程受講者のみ履修可) ●法学概論② ●政治学概論②		●日本経済の現状と展望②☆ ●企業論Ⅰ・Ⅱ各② ●アジアのビジネスと経済②☆ ●キャリアコミュニケーション②		●憲法④ ●経済法④ ●キャリアプレゼンテーション②		●民法④ ●企業法④						
			理論・政策部門		8 単 位					●マクロ経済学Ⅲ② ●ミクロ経済学Ⅲ② ●経済成長論Ⅰ・Ⅱ各② ●ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ各② ●国際経済学Ⅰ・Ⅱ各②		●公共経済学Ⅰ・Ⅱ各② ●財政学Ⅰ・Ⅱ各② ●環境経済学Ⅰ・Ⅱ各② ●社会保障論Ⅰ・Ⅱ各②		●日本経済論Ⅰ・Ⅱ各② ●財政政策Ⅰ・Ⅱ各② ●金融政策Ⅰ・Ⅱ各②☆ ●経済政策論Ⅰ・Ⅱ各② ●現代ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ各②						
			応用・データ部門		8 単 位					●労働経済学Ⅰ・Ⅱ各② ●産業組織論Ⅰ・Ⅱ各② ●日本産業論Ⅰ・Ⅱ各② ●都市経済学Ⅰ・Ⅱ各②		●空間経済学Ⅰ・Ⅱ各② ●経済統計論② ●経済統計分析Ⅰ・Ⅱ各② ●計量経済学Ⅰ・Ⅱ各②		●経済データとプログラミングⅠ・Ⅱ各② ●経済プログラミング特論Ⅰ・Ⅱ各② ●計量経済学特論Ⅰ・Ⅱ各② ●現代マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ各②						
			アジア・歴史部門		8 単 位					●アジア経済史Ⅰ・Ⅱ各② ●欧米経済史Ⅰ・Ⅱ各② ●日本経済史Ⅰ・Ⅱ各② ●経済学史Ⅰ・Ⅱ各② ●経済思想論②		●開発経済学Ⅰ・Ⅱ各② ●アジア経済論Ⅰ・Ⅱ各② ●経済学中級英語Ⅰ・Ⅱ各② ●経済史文献講読Ⅰ・Ⅱ各②		●太平洋圏経済論② ●中国経済論② ●韓国経済論② ●欧米経済論②		●経済外国書文献講読Ⅰ・Ⅱ各② ●英語で学ぶ経済学② ●韓国で学ぶ日本経済② ●英語で学ぶ世界経済Ⅰ・Ⅱ各②				
			会計・ファイナンス部門		20 単 位					●金融論Ⅰ・Ⅱ各② ●中級会計学[商業]Ⅰ・Ⅱ各② ●中級会計学[工業]Ⅰ・Ⅱ各② ●上級会計学Ⅰ・Ⅱ各②		●税務会計Ⅰ・Ⅱ各② ●租税論Ⅰ・Ⅱ各② ●経済学特講Ⅰ・Ⅱ各② ●コーポレートファイナンスⅠ・Ⅱ各② ☆		●ファイナンスⅠ・Ⅱ各② ●P Cで学ぶ財務分析Ⅰ・Ⅱ各② ●経営学Ⅰ・Ⅱ各② ●商法④						
									●金融商品取引法②											
8 単 位	演習科目		8 単 位	「専門演習Ⅰ・Ⅱ」または「総合学術演習Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを、同一教員のもとで8単位修得しなければならない。 ただし、副専攻プログラムを構成する「総合学術演習Ⅰ・Ⅱ」については、当該副専攻登録者に限り、他の「専門演習Ⅰ・Ⅱ」と合わせて履修することができ、8単位を超えて修得した単位は全学共通選択科目の卒業要件に算入できる。						●専門演習Ⅰ④		●専門演習Ⅱ④								
										●総合学術演習Ⅰ④		●総合学術演習Ⅱ④								
全 学 共 通 科 目	34 単 位	必修科目		14 単 位	●英語（F・E）Ⅰ② ●英語以外の外国語初級Ⅰ・Ⅲ (日本語Ⅰ・ⅢⅤ・Ⅶ)各①		●英語（F・E）Ⅱ② ●英語以外の外国語初級Ⅱ・Ⅳ (日本語Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ)各①		●英語Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ各① 又は英語以外の外国語 中級Ⅰ・ⅢⅤ(日本語Ⅸ)各①		●英語Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ各① 又は英語以外の外国語 中級Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ(日本語Ⅹ)各①									
		選択必修科目		4 単 位	●文章表現② ●社会学Ⅰ・Ⅱ各② ●政治学Ⅰ・Ⅱ各② ●法学Ⅰ・Ⅱ各② ●心理学Ⅰ・Ⅱ各② ●心とからだの健康学② ●情報リテラシー② ●表計算とデータサイエンス②															
		選択科目		16 単 位	言語と世界 ●英語コミュニケーションⅠ～Ⅷ各① ●Global Studies② ●スペイン語コミュニケーションⅠ～Ⅳ各① ●アジアの伝統文化② ●中国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ各① ●アジアを知る12章② ●ドイツ語コミュニケーションⅠ～Ⅳ各① ●アメリカ研究入門Ⅰ・Ⅱ各② ●フランス語コミュニケーションⅠ～Ⅳ各① ●国際関係論Ⅰ・Ⅱ各② ●韓国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ各① ●西洋史Ⅰ・Ⅱ各② ●スペイン語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●中国研究Ⅰ・Ⅱ各② ●中国語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●東南アジア研究Ⅰ・Ⅱ各② ●ドイツ語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●東洋史Ⅰ・Ⅱ各② ●フランス語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●日本史Ⅰ・Ⅱ各② ●韓国語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●北東アジア研究Ⅰ・Ⅱ各② ●モンゴル語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●海外語学実習Ⅰ～Ⅳ(AUGP)各① ●ロシア語応用Ⅰ～Ⅳ各① ●教養基礎(歴史からみた異文化交流)② ●中級日本語Ⅰ～Ⅵ各① ●Doing HistoryⅠ・Ⅱ各②☆ ●上級日本語Ⅰ～Ⅳ各① ●アメリカン・スタディーズⅠ・Ⅱ(AUAP)各④ ●英語の文と語法Ⅰ・Ⅱ各① ●アジアン・スタディーズⅠ・Ⅱ各④ ●実用英語Ⅰ～Ⅳ各① ●ジャパン・スタディーズⅠ・Ⅱ各② ●放送英語Ⅰ・Ⅱ各① ●Internet EnglishⅠ・Ⅱ各① ●American Issues②								表現と芸術 ●西洋文学Ⅰ・Ⅱ各② ●中国文学Ⅰ・Ⅱ各② ●ヨーロッパの芸術と文化Ⅰ・Ⅱ各② ●創造の世界Ⅰ(ことばとイマジネーション)② ●創造の世界Ⅱ(アニメーションの世界)② ●日本文学(近現代)② ●日本の表象文化② ●教養基礎(近現代日本の文化と表現)② ●教養基礎(現代文学入門)② ●教養基礎(チェスと文学)② ●教養基礎(理論で読む現代文学)② ●教養基礎(多様性とアートの教育学)② ●日本の美術② ●日本文学(中古)② ●日本文学(中世)② ●日本文学(近世)② ●韓国文化論② ●詩と詩論② ●日本の伝統芸能② ●表現とメディアⅠ・Ⅱ各② ●文章作成技法②		人間と社会 ●手話入門Ⅰ・Ⅱ各② ●現代教養特講② ●災害救援活動論② ●社会思想史Ⅰ・Ⅱ各② ●文化人類学Ⅰ・Ⅱ各② ●宗教学Ⅰ・Ⅱ各② ●ジェンダー研究への招待② ●地誌学Ⅰ・Ⅱ各② ●日本思想史Ⅰ・Ⅱ各② ●ボランティア論Ⅰ・Ⅱ各② ●介護等体験の意義と実践② (教職課程受講者のみ履修可) ●建学の精神を考える② ●教養基礎(Urban Problems and Urban Planning)②		こころとからだ ●哲学Ⅰ・Ⅱ各② ●倫理学Ⅰ・Ⅱ各② ●スポーツ実習各① ●スポーツ科学概論② ●救急処置・予防法② ●スポーツ心理学② ●スポーツ生理学② ●人体の構造と機能② ●スポーツトレーニング論② ●スポーツの技術と戦術② ●スポーツの測定と評価② ●リーダーシップとコーチング②		情報と自然・環境 ●情報と社会Ⅰ・Ⅱ各② ●宇宙と物質② ●環境科学② ●自然科学入門Ⅰ・Ⅱ各② ●数学入門Ⅰ・Ⅱ各② ●生物学Ⅰ・Ⅱ各② ●地理学Ⅰ・Ⅱ各② ●統計学入門Ⅰ・Ⅱ各② ●基礎数理Ⅰ～Ⅳ各② ●プログラミング言語Ⅰ・Ⅱ各② ●データサイエンス入門② ●データサイエンス応用プロジェクトⅠ・Ⅱ各② ●数理の世界探究②	
フリーゾーン		14 単 位	68単位を超える専門科目(但し、フリーゾーン必要単位数14単位のうち8単位は、選択必修科目(4つの部門)から修得する)、教職課程科目、34単位を超える全学共通科目、他学部開放科目(2・3・4年)、単位互換協定に基づく他大学の専門科目(3・4年)								<教職課程科目> (教職課程受講者のみ履修可)		●日本史概説② ●外国史概説②		●地理学概説② ●地誌学概説②		●社会学概説② ●哲学概説②		●倫理学概説② ●宗教学概説②	

（備考） ※科目名の後の○数字は、単位数を示し、☆印は隔年開講科目を示す。
※全学共通科目の配当年次等について「全学共通科目一覧」で確認のこと。